

教育研究業績書

日付 2026年3月1日

氏名 松木 知徳

研究分野	研究内容のキーワード
人的資源管理 (HRM)、サービスマネジメント、マーケティング	モチベーション、従業員満足、サービスプラフィットチェーン、顧客価値、サービス業界、ダイバーシティマネジメント、組織開発、システムシンキング、ことば工学

授業・教育向け業績

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論 文該当	概要

学術理論的研究業績

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論 文該当	概要
システム・ダイナミクスを用いたコールセンター経営モデルの検討ー人事施策および販売施策の業績への影響	単著	2022年7月	サービスロジー, 6(2), pp. 13-28	○		コールセンターの人事施策、販売施策それぞれの業績影響について仮説モデルを構築して因果関係とともに、シミュレーションソフトを用いて時間経過による影響を示した。そのうえでシミュレーション結果に関して実務者へのインタビューを通じてモデルおよびシミュレーションの結果についてフィードバックを得た。
非正規従業員の働くモチベーションに影響を与える要因の経時変化ー飲食チェーンでの実証研究ー	単著	2020年9月	芝浦工業大学大学院 博士論文	○		飲食チェーンで働く非正規従業員の働くモチベーションに影響を与える要因の経時変化を分析した。店舗運営のモデルを策定した。飲食チェーン大手3社に従業員意識調査を実施し、共分散構造分析を実施した。さらに、入店後の勤続期間ごとにグループを分け、多母集団同時分析を行った。入店後に人間関係の影響が強く、さらにその後は仕事のやりがいにシフトする結果が得られた。
新型コロナ禍のリモートワークと生産性とジョブ・エンゲージメントの関係の実証研究	共著	2022年7月	青山経営論集, 57(1), pp. 2-25		○	コロナ禍でリモートワークを取り入れた大学の教員を対象とし、働き方に影響を与える要因、リモートワークの実施状況に応じて、生産性、ジョブ・エンゲージメント、ジョブクラフティングとの関係を、統計的手法を用いてのアンケートを分析した。第二著者（共著者：薄上二郎、松木の担当部分は調査データの探索的分析と考察、明確なページ分け担当はなし）。
地域連携推進会議導入を見据えたグループホームの取り組みについてー近隣の方々への理解促進	単著	2024年8月	日本グループホーム学会誌「季刊グループホーム」			2025年度より義務化される地域連携推進会議を踏まえて、障がい者グループホームの現状と昨今の取り組みを説明した。
事業戦略レポートへのフィードバックにおけることばの表現と構造ー社会人MBAにおける文章評価の可視化ー	単著	2026年2月	ことば工学研究会（人工知能学会第二種研究会）発表			学生のレポートに対する教員のフィードバックコメントの特徴をテキストマイニングにより分析し、レポート評価点数によるフィードバック文言の標準化および学生にとって価値のあるフィードバックについての提言を行う。

実務的業績

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論 文該当	概要